

予算審査特別委員会 審査報告

審議結果

議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案第45号

(原案可決)



審査報告をする小川委員長

*特別委員会質疑要約

●総務部所管部分

地域SNS事業

問 地域SNS運用事業は、平成31年度から廃止となるのか伺います。

答 当初の目的を達成した等の理由で、地域SNS協議会とも協議を重ねた結果、休止となりました。

●市民部所管部分

コミュニティ施設整備事業

問 コミュニティ施設整備支援事業で、改築の補助率と解体の補助率が異なる理由について伺います。

答 解体補助については、集会所の敷地内に、建物やその他の工作物、また樹木等が撤去されずに残ると、後々の防災や防犯、公衆衛生上の問題等の発生が考えられます。当該の敷地の利活用を考慮すると、集会所を解体して、その後地区や区で活用しやすいように整地された状態にすることが望ましいと思っております。

地域の住民の触れ合いの場となっているコミュニティ施設が、安易に解体されて、コミュニティの場がなくなってしまうようなことがないよう、補助率を設定しています。



平成31年度各会計予算関係議案8議案を審査するため、定例会30日に予算審査特別委員会が設置されました。

小川吉孝委員長、大塚重忠副委員長が選任され、議長を除く全議員で委員会を構成し、3月6日と7日の2日間開催されました。

市長、関係部長等から説明があり、慎重に審査を行いました。



予算審査特別委員会の様子

●都市建設部所管部分

土木費の増額

問 土木費について、松尾駅前の周辺排水対策事業を除いて、どのくらい増額したのか伺います。

答 市民等からの工事業

望等に対する事業費等の予算については、約4120万円の増額を予定しています。要望に対する整備を、10件程度多く消化できると見込んでいます。

●教育部所管部分

施設改修工事費

問 全体的に大規模な施設の改修が多くなっています。今後、改修工事は続くのか伺います。

答 平成31、32年度で大規模な施設改修工事を多く見込んでいますが、耐震改修等の有利な財源を使用できる期間が決まっていること等から計上しました。

今後については、入れ替えの時期等が到来した機器の改修等は見込まれますが、大規模なものは、今のところ、予定していません。



多くの人でにぎわう本須賀海岸

●経済環境部所管部分
ブルーフラッグ取得
問 ブルーフラッグの認証取得に取り組んでいます。ほかに、九十九里浜の海水浴場と比べて本須賀海岸は違うな、というものをもし出してもらいたいと思いますが、どうですか。
答 ブルーフラッグが認証となれば、本須賀海岸は、安全・安心な海水浴場であり、海に行くなら本須賀だと思っただけのようなPRをしていきたいと思えます。
また、海の家の方々や市民の皆さんにも協力していただき、環境教育等も行いながら、魅力ある本須賀海岸にしていきたいと思えます。